小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 七野会	代表者	井上ひろみ
事業所名	小規模多機能施設 和泉の家	管理者	山村多恵子

法人・ 事業所 の特徴 利用者の7割程度が独居もしくは高齢者世帯。平均年齢85.6歳。平均介護度は2.7。 日々の訪問件数が平均27件程度。法人理念である、『その人らしく』地域や住み慣れた自宅で暮らし続けられる事を大切にし、日々援助にあたっています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2 人	人	人	1人	2 人	16 人	人	21 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	いつでも確認ができるように、総括表を目に付くところに貼っておく。 会議で確認をしていく。	フロアのパソコン横に貼って、目に 入るようにはしていたが、意識的に 見れているかと言われたら見れて いなかった。	定期的にこのような機会を持つことは良いと思う。 皆で取り組んでいるのがよくわかった。具体的な取り組みは外部から見えにくいが、チームが協力し合って支援しているのは感じる。	会議で確認する機会は増やす。 この総括表や事業所自己評価で出 た改善点や目標は、事業計画に組み 込むことで意識できるようにする。
B. 事業所の しつらえ・環境	個々の意見を積極的に話し、検討する。それで決めたことは、だれが、いつまでにするのか等決め役割分担を行い進めていく。環境整備中心に計画を立て指示をだしていく。	環境整備について、担当中心で取り 組んでもらっており、気づいた箇所 を都度改善していた。ただ皆で一緒 には出来ていない。なかなか意見が 出にくかった。	事業所に訪問した際明るい雰囲気を感じた。地域的にオープンな感じもある。 役割分担は明確にしないと難しいと思う。 ご利用者がそれぞれに落ち着いて過ごされている感じがある。 実際に行かないと分からない。	出すようにする。 それぞれの価値観は違うので、意見 交換することですり合わせをおこ なう。
C. 事業所と地域の かかわり	和泉だよりを計画的に出す。 糸屋デイとも協同しつつ、施設前や 公園のゴミ拾いをご利用者と行う など取り組みを検討。	和泉だよりを夏と冬と2回発行。も う少し出せたら良かった。 糸屋デイと一緒にゴミ拾いを行う などの取り組みは出来ていない。	和泉だよりとても分かりやすくて良いと思う。ゴミ拾いなど良い取り組みだと思う。時間を作らなくとも自然にできれば良いですね。 聚楽だよりに成逸包括は電話番号を記載しているが、和泉(生活支援総合センター)は記載していない。なぜか?	和泉だよりの発行回数を増やす。 置きベンチの取り組みを検討。 ご利用者との散歩や関わりの中で のゴミ拾い活動などを実施する。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	引き続き、ご家族等にこれまでの暮らしを教えて頂く。(生活歴アンケートの活用)また訪問時に地域に出ることで、繋がりや地域の特徴を知る。	を聞けた。生活歴アンケートの内容	地域に関心を持ち、地域に根差した 事業所になるように取り組んでいると思う。よく外出されていたイメージだが、最近はコロナ禍でどのようにされているのか。わたしの「大切なこと」というメモがあるので参考になれば。難しいケースにも真摯に向き合っている。	引き続き、その方の人となりや地域 とのつながりが分かるよう、ご家族 やご本人から教えてもらい、生活歴 アンケートも活用する。 また訪問時に地域に出ることで、繋 がりや地域の特徴を知る。少しずつ 散歩や地域お店へ出かける等のレ クリエーションも再開していく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	引き続きわかりやすい資料づくり を心掛ける。 地域の高齢者のことや地域の状況 などを把握し、協同していく。	誰が読んでも分かりやすいように と考えて作成は行ってきた。運営推 進会議で地域や地域の高齢者の事 を共有した。	分かりやすい資料と、直接話を聞く ことでよくわかる。引き続き地域の 高齢者の情報も共有し、一緒に見守 って行けたら。	より分かりやすい資料を心掛ける。 地域や地域の高齢者の情報は共有し、職員皆にしっかりと発信し全員で意識できるようにしていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	災害・状況別の対策を考え、シミ ュレーションを行うことで備え る。	災害想定の訓練はまだ出来ていない。BCP (緊急事態における事業継続計画)は施設長によって感染症は作成済。災害は未。火災想定の訓練は2回実施。管理者1名のみだったが、地域の防災訓練に参加させてもらった。	事業所が防災訓練をされているのは報告書等で知っているが、具体的にどのような内容かは少しわかりにくい。 公園での避難訓練実施は地域の人の目に入って良いことだと思う。 施設長中心に施設全体で以前より意識して備えていると思う。計画が職員全員に周知されたらなお良いかと思う。	BCPを完成させる。地震想定の訓練も実施する。 火災想定についても、課題を整理していく。